

夢タウンまつぶし

議会だより

第109号

令和2年5月28日発行

3月定例会

- 議会構成 2・3P
- 令和2年度予算の質疑 4・5P
- 議案審議 6P
- 意見書 7P
- 11人の議員が町政を問う 8～13P

下赤岩地区のしだれ桜

議会新構成

令和2年4月選挙後の初議会が招集され、議長・副議長をはじめ常任委員、議会運営委員、一部事務組合への派遣議員が決まりました。



議長 増田 等

4月の松伏町議会臨時会におきまして、第32代議長に就任いたしました。職責の重さに身の引き締まる思いです。

町民の皆様の生活の豊かさの向上と、町の発展のため全力を尽くして参ります。町民の代表である議員の多様な意見に耳を傾け、公正な議会運営に努めて参ります。

町執行部の政策追認や確認機能のみではなく、二元代表制の主旨に鑑み、直近の現実的な課題解決と将来の町の姿を見据えた町政に取り組んで参ります。



副議長 田口 義博

この度、初議会において正副議長選挙が行われ、議員皆さまの推挙を賜り副議長に就任することになりました。

改めて、これからの職務の重大さを感じております。

議会活動の経験は浅いものですが、行政経験を活かし、議会の円滑な運営が行えるよう、議長の補佐役として職務を遂行して参ります。

松伏町が、皆様にとって安心して住みやすい町のために努めて参ります。

今後とも、町民の皆様の更なるご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

総務産業常任委員会



委員長 川上 力
 副委員長 吉田 俊一
 委員 佐藤 永子 福井 和義
 松岡 高志 田口 義博
 高野 祐大

文教民生常任委員会



委員長 長谷川 真也
 副委員長 平野 千穂
 委員 高橋 昭男 鈴木 勉
 増田 秀雄 砂川 清時
 村上 真由美

議会運営委員会



委員長 佐藤 永子
 副委員長 松岡 高志
 委員 吉田 俊一 長谷川 真也
 田口 義博 福井 和義
 川上 力

監査委員



川上 力

一部事務組合議会議員

○東埼玉資源環境組合議会（3名）

長谷川 真也 ・ 鈴木 勉 ・ 平野 千穂

○江戸川水防事務組合議会（3名）

福井 和義 ・ 砂川 清時 ・ 高野 祐大

○吉川松伏消防組合議会（4名）

吉田 俊一 ・ 高橋 昭男 ・ 増田 秀雄
 村上 真由美

○越谷・松伏水道企業団議会（3名）

増田 等 ・ 松岡 高志 ・ 田口 義博

各世代が笑顔あふれ

一般会計予算 87億4,600万円

特別会計予算 57億3,999万円

企業会計予算 8億4,900万円

1 令和2年度の重点施策

問 施政方針で述べた事業とは。

- 答** ①総合的なごみ処理を推進するため、老朽化した中間処理場を整備する。
 ②安心安全を守るため「松伏町地域防災計画」の見直しと、「地震・洪水ハザードマップ」を改訂する。
 ③乳幼児期に親子で触れ合う場を新たに緑の丘公園内に発達を促せるエリアを整備する。引き続き「カレーのまちづくり」を推進し、商業の活性化と交流人口の増を図る。また、松伏・田島地区で建設を想定している「バスターミナルを併設した道の駅」の整備計画を進める。

子育て支援	児童館空調設備改修工事	新規	2,522万円
	学童クラブ空調機修繕工事	新規	143万円
健康福祉	保健センター空調設備修繕工事	新規	157万円
農業基盤整備	魚沼用水路整備事業	新規	5,000万円
生活基盤整備	町道3号線歩道整備事業	継続	6,869万円
	橋りょう長寿命化経費	新規	1,185万円
	町道12号線金杉地区舗装整備事業	継続	1,100万円
	公園長寿命化計画策定委託料	新規	600万円
生活環境	中間処理場整備事業	繰越・継続	53,122万円
	地震・洪水ハザードマップ作成事業	新規	700万円
	地域防災計画改訂事業	新規	450万円

るまちづくり実現へ

予算=賛成多数で可決

2 ごみの中間処理場整備計画

問 中間処理場整備工事費は4億8,721万円、建屋の規模など概要の説明を。

答 敷地面積は約3,900㎡、鉄骨づくりで建築面積は約1,200㎡、工場棟の高さは約9mを予定。令和3年度以降には、ごみ処理系統プラントの設置を予定している。

3 地域防災計画の改訂

問 「松伏町地域防災計画」改訂業務委託料、地震・洪水ハザードマップ作成業務委託料の説明と、ハザードマップの全戸配布はいつ頃か。

答 現在の地域防災計画は、平成27年3月に改訂された。国の避難勧告などのガイドライン改正、最大規模の浸水想定が公表されたことで見直す。ハザードマップは、埼玉県の河川管理の影響によるもので、作成後、速やかに全戸配布する。

4 教育

令和2年度の教育予算は、8億8,326万4千円 前年度比3,001万1千円の減

問 特色ある教育活動推進事業交付金の内容は。

答 特色ある教育、児童・生徒の個性を伸ばし、豊かな人間性を育成する創意を生かした体験活動。

問 教育支援員報酬は前年度と比較し234万4,000円の減額。その理由は。

答 令和2年度の勤務時間は、7.5時間で時間額は1,001円となる。長期休業中の勤務はない。新たに支給する期末手当20万889円と試算し、年額として15万4,814円の増となる。

賛成

前例にとられることなく、逆転の発想ややわらかな発想の中、事業の選択と集中で予算編成された。

主要事業の老朽化した中間処理場の整備、社会資本整備総合交付金による町道3号線拡幅事業、橋りょう長寿命化など、事業の推進を図る。

町民の安心安全を守るため、「松伏町地域防災計画」の見直しや「地震洪水ハザードマップの改訂」を一日も早く実施することを望む。

討論

反対

予算規模が大きくなった背景には、国が実施している影響もある。消費税の10%への増税の影響も。

実態とかけ離れたマイナンバーカードの発行を前提とした補助金等は、住民の利益にならない。

地域の要望の多い事業を進めることは賛同するが、高齢化が進んでいる松伏町の中で、高齢福祉や障がい者福祉の分野で、職員の増加が図られていない。

常に進化を目指したまちづくりが必要になっているが、予算案は進化の道を歩んでいる実感はない。

令和元年度補正予算

一般会計補正予算

9,166万1千円

【主な歳入】

法人町民税	△300万円
地方消費税交付金	△3,000万円
地方交付税	1億6,969万円
寄付金（ふるさと納税）	△100万円

【主な歳出】

被災ほ場営農再開支援事業費補助金	1,000万円
公共下水道事業特別会計繰出金	1,500万円
小中学校建設等基金積立金	2,000万円
公用・公共用施設整備基金積立金	5,000万円

繰越明許費(※1)

事業名	金額
健康管理システム導入委託料	60万5千円
中間処理場仮設工事等整備工事費	2,851万4千円
三栄会館排水ポンプ修繕料	682万円
町道拡幅整備事業（町道3号線）	1,362万8千円
地域活性化拠点整備検討調査業務委託料	300万円
清水用水路電柱等移設工事費	25万9千円

(※1) 予算化した年度内に支出を終了できない経費について、特別に、翌年度1年間に限り繰越して使用することができること。

一般会計補正予算の主な質疑

問 ふるさと納税寄付額を増やすための対策は。

答 売り込み方法の工夫。体験型の検討。

問 地域活性化拠点整備検討調査業務委託料300万円は、道の駅構想・計画に関する調査研究事業。施設の建設費用、運営維持費など今後示す予定は。

答 既に策定した道の駅構想・基本計画を基に、より具体的な導入機能や施設規模、バスターミナルの配置を含めた整備場所、事

業費の積算、整備と運営の手法、収支見込などの検討、国の支援が手厚くなる重点道の駅の認定に向けた策定業務委託費用である。令和2年度秋に重点道の駅の申請をしたいと考えている。それまでに住民・議会に報告書で示したい。

問 被災ほ場営農再開支援補助金とは。

答 台風19号で農地に堆積した稲わらの撤去費。2,000㎡分を計上。

意見書

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と 対策を求める意見書 可決

従来、ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきた。しかし最近では、就職氷河期世代も含め中高年層に及ぶ大きな社会問題としてクローズアップされている。就職氷河期世代も含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。そこで政府におかれては、中高年のひきこもりは、個々人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受け止めるべき大変重要な課題と捉え、早急に取り組むことを強く求める。

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的制度の 創設を求める意見書 可決

加齢性難聴は日常生活に支障をきたし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな要因になっています。補聴器のさらなる普及は、高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過すことができ、高齢者の社会参加の促進、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるものと考えられます。よって、国におかれましては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設されるよう強く要望します。

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を 求める意見書 否決

主な議案の採決 (3月定例議会)	議員名													
	高橋昭男 (自)	佐藤永子 (自)	莊子敏一 (公新)	堀越利雄 (公新)	長谷川真也 (町)	福井和義 (無)	松岡高志 (自)	田口義博 (自)	増田等 (自)	山崎隆一郎 (公新)	平野千穂 (共)	吉田俊一 (共)	鈴木勉 (無)	
令和2年度松伏町一般会計予算(議案第11号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●
令和2年度松伏町国民健康保険特別会計予算(議案第12号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●
令和2年度松伏町介護保険特別会計予算(議案第14号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
令和2年度松伏町後期高齢者医療特別会計予算(議案第15号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
< 令和元年度補正予算 >														
令和元年度松伏町一般会計補正予算(議案第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算(議案第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度松伏町公共下水道事業特別会計補正予算(議案第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
< 意見書 >														
中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書(発議第1号)	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書(発議第2号)	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○
後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書(発議第3号)	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○

(○=賛成、●=反対) (会派名) 自=自民クラブ、町=町民クラブ、公新=公明・新自民の会、共=日本共産党、無=無所属クラブ

町政に関する

一般質問の主題

増田 等

- 中間処理場の町の整備方針を問う
- 令和元年度のごみ減量活動施策の成果の見込みを問う
- 町制50周年事業の総括と成果を問う
- 新型コロナウイルスの拡散防止対策の危機管理体制を問う

山崎 隆一郎

- 保険料等の納付方法改善で利便性の向上
- 職住近接の町づくりにおける人材確保
- 多様性を認め合い、人権の尊重を
- SNSの進む方向性は

莊子 敏一

- 「豊かなまちづくり」をめざしたダイバーシティ&インクルージョン

田口 義博

- 町の歌は誰のもの
- 松伏ふるさとカレーについて

松岡 高志

- 東埼玉道路開通による町の未来ビジョンは
- 「道の駅」による松伏町の地方創生は

福井 和義

- 道の駅で何円もうかるのか
- 地域に根ざした読書環境づくり

佐藤 永子

- 空き地・空き家の管理について
- 地下鉄8号線の誘致について

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

長谷川 真也

- 自治会の運営について
- 県道春日部松伏線の歩道整備について
- 施設の管理運営について
- 町のPRについて

平野 千穂

- 多子世帯への学校給食費の補助または無償化で子育て支援を
- 高校卒業まで医療費無料化の拡大を
- 高齢者が安心して暮らせる介護保険・介護サービスになっているか
- 加齢に伴う難聴者の早期発見と、補聴器購入への補助

吉田 俊一

- 広域農道における除草の改善を
- 中学生の子どもたちの居場所づくりに着手を。第一弾として試験期間中の公共施設の開館を
- 中川の郷の前のバス停の改善を
- 特別地方交付税の12月交付額の増額状況について

鈴木 勉

- 「道の駅」計画の設置是非の最終的判断は住民投票で決定せよ
- 市街化区域周辺に防災公園を兼ねた中規模公園の計画的整備を
- 道路後退用地寄付採納に伴う分筆費用補助金の引き上げを

11人の議員が町政を問う



ますだ ひとし
増田 等 (自民クラブ)

Q 新型コロナウイルス拡散防止の危機管理体制

A 感染症対策会議にて対応を決定

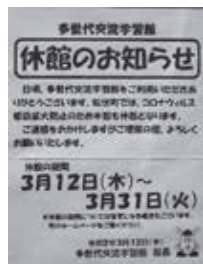
問 中間処理場の町の整備方針は。
答 **環境経済課長** 新たな中間処理場の整備は、町の規模に見合った簡素で効率的な施設を目指す。完成は令和4年度。令和2年度は処理場の建屋、令和3年度は、ゴミ処理機械、令和4年度は外構、駐車場などを整備。来年度の事業費は5億5千万円。財源は国庫補助金、有利な地方債獲得を予定。

問 令和元年度のごみ減量活動の成果の見込みは。
答 **環境経済課長** 令和元年度の家庭系ごみ収集量は、直近1月末現在で前年度比98%。枝・草のリユースへの持ち込みに利用された軽トラックは延べ件数で42件、重量で約10トンの実績である。

問 町制50周年記念事業の総括と成果は。
答 **企画財政課長** 「松伏町制50周年事業実施方針」である「多くの方々に町に来て頂けるように町の魅力を広くアピールし、未来につながる取り組み」を実施。プレイベントにはじまり、松伏名産

町民、後藤純男画伯の作品展には9,806人の来場者があり、町外からも多くの方々に来場頂いた。

問 新型コロナウイルスの拡散防止対策の危機管理体制は。
答 **すこやか子育て課長** 1月28日、政府の「指定感染症」の政令閣議決定後、速やかに3役・課長会議、行政会議にて対応を確認。2月21日「第一回新型コロナウイルス感染症対策会議にて」イベント、集会など3月31日まで中止・延期を決定した。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校休校に続き、公共施設の休所・休館あいつぐ



やまざき りゅういちろう
山崎 隆一郎 (公明・新自民の会)

Q 多様性を認め合い、人権の尊重を

A LGBTの方への配慮は必要

問 性的少数者（セクシュアルマイノリティ）所謂LGBTの人口は電通の調査では8.9%の割合と言う調査結果が出ている。当町に当てはめると人口29,138人（令和2年2月1日現在）の内、約2,593人の割合の人々が統計結果になる。多様性がある事、多様性を認め合う事が重要で、そこには、人を気遣う心が大切である。その中で選挙投票時、投票用紙を交付の際、男女区別をする赤色青色のボタンを押す作業が存在する。この作業は、本人にも見えてしまうので、LGBTの方は大きなショックを受けるとの話を聞いた。手元が見えないようにカバーを付けるなどの配慮が出来ないか伺う。

答 総務課 LGBTの方への配慮は必要と考えている。選挙の際の対応としては、カバーや仕切りをつけることで、手元を見えないようにすることは比較的容易と思われるので、4月の町議会議員選挙から実施したいと考えている。

問 介護保険料や後期高齢者医療保険料、保育料などの納付書でコンビニ納付できれば利便性や収納率が向上すると思うが、町の見解を伺う。

答 いきいき福祉課 現在コンビニ収納に対応していない介護保険料、後期高齢者医療保険料について、コンビニ収納用バーコードを納付書に印字することは、行政改革の観点からも費用対効果を含めて検討すべき事項であると考えている。

Lesbian	レスビアン / 女性同性愛者
Gay	ゲイ / 男性同性愛者
Bisexual	バイセクシュアル / 両性愛者
Transgender	トランスジェンダー / 性別越境者



しょうし としかず
莊子 敏一 (公明・新自民の会)

Q 多様性を重視した事業を進めよ

A 既存の事業を充実させていく

問 「あらゆる分野への男女共同参画」の進捗率はどの程度か。

答 企画財政課長 昨年9月議会の年次報告において89パーセントと報告している。

問 残りの11パーセントは、どんな分野か。

答 企画財政課長 「女性の人材育成と活躍の支援」、「地域福祉活動の推進」、「町政運営への女性の参画の推進」が挙げられる。

問 その原因はなぜだと考えているのか。

答 企画財政課長 女性の参画する意識づけが高まっていない。女性の参画には意識づけを進め、人材育成も女性の必要性や女性ならではの特性を活かした人材活用を進めていかなければいけないのかなと思っている。

問 2020年度、多文化共生をめざした新たな交流事業は行うのか。

答 企画財政課長 考えていない。まつぶし日本語ひろば及びニューイヤーパーティーの充実を図る。

問 民間のダイバーシティとは、性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することだが、町内在住の外国人を大切な人材として活用しないのか。

答 企画財政課長 日本語習得の支援や相談の場として日本語ひろばを継続していき、多様な国籍の人材として町の様々な活動に参加してもらいたい。





たぐち よしひろ
田口 義博 (自民クラブ)

Q 町の歌は誰のもの

A 教育の場で存在を周知する

問 ふるさとを愛する心を持ち、一体感が強まることを願って作られた「町の歌」は、全国の市町村で作られている。町制施行10周年を記念して作られた『まつぶしの歌』があるが、どのような時に使われているのか。

答 **企画財政課長** 町民まつりの会場でBGMとして流している。今年度は町制施行50周年記念式典や後藤純男展において聞いていただいている。

問 中学時代、埼玉県のを歌った記憶がある。町の事業や学校行事の際に歌ってみてはどうか。

答 **企画財政課長** 郷土愛の醸成には効果的である。取組としては、「子ども歴史講座」のほか、学校教育で「わたしたちの松伏町」の副読本により、郷土愛を学ぶ学習を進めている。認知度は高く無いので、子ども達に存在を知ってもらうため、小・中学校へ周知していく。

問 学校内で曲を流すとか、児童生徒に歌ってもらうことは可能か。

答 **教育長** 私が松伏小学校長の時、町制施行30周年記念『まつぶし町こども憲章』の歌を学校生活の清掃時に毎日流し、親しみをもって活用していた。『まつぶしの歌』は郷土愛の醸成には素晴らしいものだと思う。再度、各学校には紹介していく。

♪まつぶしの歌♪

船村 徹 監修 中園 純則 作詩

石本 美由起 補作詩 栗田 俊夫 作曲・編曲

1 希望の光 満ちあふれ

木陰静かな 散歩道

風に小鳥の 唄を聞き

梅の香りに 春を知る

ああ わが松伏の 美しくさ



まつおか たかし
松岡 高志 (自民クラブ)

Q 「道の駅」による町の地方創生を

A バス交通網の充実と強化を図る

問 道の駅バスターミナル計画で、交通弱者やバス路線のない地区の交通利便性向上の考えを問う。

答 **新市街地整備課長** スターミナル整備で、バス路線のハブ化が図られ、各方面へのアクセスが容易になり、利便性の向上が図られることから、バスターミナルを経由したバス利用者が増加するものと考えている。バス事業者と協議を進め、その結果、バス利用者の増加に伴い、バス路線のない地区からバスターミナルまでのバス路線が新たに整備されればと思っている。

問 道の駅の防災施設で、災害時の避難場所や防災拠点として機能できるよう検討とあるが、水害に対する防災機能をどのように考えているのか。

答 **新市街地整備課長** 防災機能は、地震による広域災害を想定している。河川決壊等の水害を想定した場合は、相当の高さに盛土し、道の駅を整備することとなり、予算上困難と考える。

問 東埼玉道路の一般道路部の開通による、町内の主要道路の交通量をどう推定しているか。

答 **新市街地整備課長** 整備によって交通転換が図られるものと考えている。具体的な想定交通量は把握してないが、町内を南北に走る「ふれあい橋」から「かがり火公園交差点」までの町道7号線と県道春日部松伏線の交通量が減少するものと考えている。



地域活性化の先駆事例 道の駅「川場田園プラザ」



ふくい **福井** かずよし **和義** (無所属クラブ)

Q 地域に根ざした読書環境づくり

A 地域の読書環境を充実させる

問 読書って楽しい。

私たちは、読書を通じて、新しいこと、古いこと、美しいこと、楽しいこと、悲しいことなどを知ったり、心を豊かにしたりできる。読書は、生きる力を育む「知恵の宝庫」である。しかし、本離れが懸念されている。そこで、全国の図書館では、読書の楽しさを提供するとともに、地域の課題にも寄り添い、住民と一緒に解決に取り組んでいる。

例えば

- ①、商業の専門書データベースを充実させて、地元の商店を支援する。
- ②、地元企業のためにビジネス情報を提供する。
- ③、認知症の家族に必要な書籍を紹介する。

このように、これまでのイメージを超えた役割を担う個性的な図書館が増えている。松伏町でも地域に根ざした読書環境づくりを推進したい。町は、地域に根ざした読書環境づくりをどのように

考えているのか。

答 **教育文化振興課長** 町民の皆様が教養を深める場、また、楽しく学べる場としての読書環境づくりは重要であると考えます。これからも地域に根ざした読書環境を充実させていきたいと考えています。



中央公民館図書室で学習する町民



さとう **佐藤** えいこ **永子** (自民クラブ)

Q 空家対策や地下鉄8号線に全力を

A 空家や地下鉄誘致に前向きに取り組む

問 平成27年5月に空家法が全面施行された。特定空家として、倒壊等保安上の危険があり、衛生上有害である、景観を損なう状態にあるものを認定している。町内には空き地、空家の現状はどのようになっているのか。苦情に対応しているのか。

答 **新市街地整備課長** 平成25年住宅土地統計調査では390件で、平成30年は590件と増え200件の増加。65件の軒数を対応し、草木の繁茂が約5割、半分で建物の老朽化が3割、その他害虫、害獣になる。

問 5年間で200件の空家が増加して、65軒の対応件数、残りはどのような状態になっているのか。

答 **新市街地整備課長** 顕在化している空家があること、相続人たる親族が適正に管理しているもの、苦情に対し、適正管理通知を送付している。

問 地下鉄8号線の誘致は私の公約の1つである。利便性の高い快適なまちづくりに向けて、東京への

速達性の向上はまちづくりを進める上で最大の課題である。町に新しい魅力をもたらす、人口の増加や経済活動の発展など、地域に活力を見出すことのできる誘致はどのようになっているのか。

答 **企画財政課長** 国土交通省や各県の要望活動をし早期実現に努めている。事業性に課題があるといわれ、令和3年度から事業の採算性、費用便益性の内容の検討調査を実施する準備を進めている。





は せ が わ し ん や
長谷川 真也 (町民クラブ)

Q 自治会脱会の問題を問う

A 喫緊の課題であると認識

問 自治会に加入して、明快にメリットをつくるべきだと思うが。

答 **総務課長** 全自治会に加入することのメリットの整理、デメリットの対策などについて意見交換を行っており、ワークショップを重ねていく中で、持続可能な自治会の運営に役立つような事例やヒントなど、自治会ハンドブックを通じて、各自自治会にフィードバックできればと考えている。

問 松伏町のPR大使、AKB48の高橋彩音さんのコンサートなど、若い方が行きたくくなるようなイベントコンサートの企画が検討できないか。

答 **教育文化振興課長** 若者に認知度の高いアーティストのイベント、コンサートの開催については、ホールでの公演が可能かどうか収支バランス等を調査・研究し、町民の皆様が音楽に親しむことができる機会の充実に努めていく。

問 かがり火公園から県営松伏線の丘公園までの歩道の改善を問う。

答 **まちづくり整備課長** 歩道が未整備で、路肩も狭く、歩行者等の通行の際、大変危険な状況である。ここは県道であることから、毎年、埼玉県に対して計画的な舗装の修繕及び歩道の整備を埼玉県予算編成等に対する要望を実施している。



県道春日部松伏線の歩道状況



ひらの ちほ
平野 千穂 (日本共産党)

Q 子ども医療費18歳まで無料に

A 県が補助すれば町も追随していく

問 高校卒業まで医療費無料にしている県内市町村数。

答 **すこやか子育て課長** 県内63市町村のうち、高校卒業まで入院・通院を無料にしているのは23市町村。入院費のみは3市町村。

問 ①高校卒業まで入院費無料にした場合②高校卒業まで入院通院費を無料にした場合の町の負担額は。

答 **すこやか子育て課長** ①年間約70万円程度 ②年間約1,600万円程度

問 全国で、小・中学校の学校給食費の一部無償化、一部補助を実施している市町村は24.4%。多子世帯への学校給食費の補助は町長の公約だが、現在どのように考えているのか。

答 **町長** 学校給食の補助は、人口減少対策として一時的にはかなり効果があるが、定住対策としては最近いささか疑問を持っている。子育て支援としては有効な手段。財政力向上を進める中で考える。

問 加齢性の難聴は日常生活を不便にし、難聴によるコミュニケーションの減少はうつや認知症につながると考えられている。特定健診等での早期発見や専門医に繋げる取組み。購入費補助の検討は。

答 **住民ほけん課長** 特定健診・高齢者健康診査に聴力の項目はないが、健診での問診の受け答えの状況によって難聴が疑われる場合には、医師の判断に基づき専門医への受診勧奨もあり得る。

いきいき福祉課長 補聴器購入への補助は、当町の財政的事情を勘案すると、実施は難しい状況。





よしだ しゅんいち
吉田 俊一（日本共産党）

Q 広域農道の除草作業の改善を

A 職員が現場確認し、作業を行う

問 魚沼地域の金杉小通学路で、広域農道を横断する場所。「草が伸びて危険。町長にお願いし1回除草をしてもらえたが、その後は見てもらえていない。やむを得ず自分で草を刈っているが、通学路の危険箇所は町にしてもらえないものか」との声がある。町は対応できないのか。

答 **まちづくり整備課長** 町内の広域農道は、全長で約3.5km。大型車両の通行が多いため、草刈作業では困難を要する場所の1つ。ご指摘の場所につきましては、職員が今後道路パトロールに出た際に状況を確認し、除草作業を行っていく。町内の除草作業は、小・中学校の通学路、通行や生活に支障がある箇所を優先的に努めていく。

問 広域農道は他にも交通安全上、危険な場所がある。年1回業者による除草の予算がついているが、あとは町職員による対応。実際には年3回は必要で、現在のやり方には無理がある。除草を委託する費用はいくらかかるのか。町外から大型車

両が通過する広域農道は県や国に負担を求めていくべきではないか。

答 **まちづくり整備課長** 平成30年度の実績で年1回3.5kmの両側で約230万円程度が広域農道の清掃、除草の費用となる。限られた予算の範囲内で、緊急性のある場所を判断し、優先的に実施していく。



大型トラックが走る広域農道



すずき つとむ
鈴木 勉（無所属クラブ）

Q 道の駅の是非判断は住民投票で

A 議員の判断で道の駅を進めていく

問 道の駅は、町の財政規模から判断して、将来の行財政に重大な影響を及ぼすもの。町執行部や町議会だけで決めるものではない。最終的な道の駅の是非判断は、住民投票で決定すべきだ。

答 **新市街地整備課長** 自治体の運営は、住民から選ばれた町長や議員が議会で決定する間接民主主義が原則である。道の駅設置の是非についても、この原則によるべきと認識している。

問 二元代表制は、わかっている。しかし、事の重大性、将来に重大な影響を及ぼすものは、直接住民の意思を確認することが大事なこと。町長や議員は、住民から白紙委任状をもらっているわけではない。道の駅の設置整備費21億円は、町一般会計予算の4分の1を使い、そのほとんどは借金に頼り、他の行政分野へのしわ寄せは避けられないこと。しっかり、住民の判断を仰ぐことは絶対必要だ。町長の見解は。

答 **町長** 住民投票はせずに、議員の判断において、道の駅問題を進めていきたいと思っている。議員の皆様は、先見の明を持っているわけですから、そこで判断して頂ければ結構なこと。町長選挙が来年あり、対抗馬として出ただけければ、（私が負ければ）道の駅は止めることができると思います。



まるで大型トラックの休憩・待機場所化している「道の駅庄和」の大型車駐車場



3月議会・傍聴者数			
2月27日	3名	3月10日	4名
3月2日	8名	3月12日	2名
3月3日	7名	3月16日	1名
3月4日	10名	3月17日	0名
3月6日	1名	3月18日	1名
合計		37名	

傍聴者の声 (敬称略)

(抜粋です)

- 道の駅については、しっかりしたビジネスプラン作成の上、住民への開示をお願いします。建設してから赤字たれ流し、規模縮小とならないようお願いします。(東城)
- 松伏住民としてはネバリ強く地下鉄8号線誘致実現推進をお願いします。(東城)
- 制度(法令)あつての介護サービス、というのは良く理解していますが、現場では不満、不安を良く耳にします。もう少し柔軟な対応を期待いたします。(横川)
- 毎回、議会だよりを読ませていただいています。編集も大変でしょうが、頑張ってください。(横川)
- 自治会も少子高齢化社会の到来で、高齢病弱者の方々の退会は時代の流れでもある。自治会として会の維持拡大の努力はするも、町としても自治会存続できるよう支援をできる限りお願いしたいものである。(東城)

議会広報発行特別委員会



村上 真由美

平野 千穂

長谷川 真也

鈴木 副委員長 勉

田口 委員長 義博

増田 議長 等

増田 秀雄

砂川 清時

【編集後記】 田口 義博

暖冬のさなか、新型コロナウイルスにより感染拡大が続いています。社会生活に不安がぬぐえない毎日ですが、皆様の行動自粛により減少すると言われていています。責任ある行動を一人ひとりが持ち続けることが大切です。

さて、「議会だより」は今回で109号の発行となります。紙面づくりには編集経験の少ない議員同士が、町民の皆様に読んでわかりやすい表現を心がけ、取り組んでいます。紙面だけでは分からない所もありますので、是非とも議会に傍聴されてはいかがでしょうか。

- 議長 増田 等
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 田口 義博
- 副委員長 鈴木 勉
- 委員 長谷川 真也
- 委員 平野 千穂
- 委員 増田 秀雄
- 委員 砂川 清時
- 委員 村上 真由美